

## 第59回放送フォーラム「沖縄と核」

### 参加者アンケート集計報告

去る1月21日、千駄ヶ谷区民会館で開催された「放送を語る会」主催の第59回放送フォーラム・番組制作者と語る、NHKスペシャル『暴かれた真実「沖縄と核」』の制作ディレクター、今理織（コン・ミチオリ）氏を囲む集会は、凡そ150名を超える参加者を得て、好評裏に終えることが出来ました。フォーラム終了後、参加者から45通のアンケート回答が寄せられました。この回答数は過去最高でした。以下はその概要の報告です。

● この集会を何処でお知りになりましたか？

1、放送を語る会や、協賛団体からの連絡	16
2、友人、知人からの紹介	15
3、インターネット、各種メーリングリストなどの情報	9
4、新聞、雑誌からの情報	5
5、その他（「週間金曜日」からの情報）	1
	計 45

● 本日の集会の内容についてのご感想、ご意見

- （番組は）知られざる沖縄の核の歴史を、よく掘り下げていたと思う。沖縄の米軍基地に、アメリカは1300発の核を置いていた事実が明らかにされた。その核が、1960年代の、ソ連、中国、アメリカの対立を背景に、アメリカの、中国に向けた核だったという事実もそら恐ろしいが、沖縄が吹っ飛ぶような事故も起きていたという事実には鳥肌が立った。番組は、そういう事実を掘り下げていて、よくやったと思った。（Y. M）
- ①紹介された番組内容については、ただ見事の一語に尽きる。会場でのある同業者の発言のごとく、NHKのOBとして若干のジェラシーを込めて、

惜しみない称賛を捧げたい。②制作者、今理織氏については、沖縄と核をめぐる隠された事実を、難解なパズルを解くように、熱い情熱と飽くなき執念で解明していったプロセスに感動した。良質のスリラーを見る思いと言おうか、ただ脱帽するのみ。彼の質疑に於ける、対応にも感服。思慮深い誠意ある回答ぶりであった。③参加者の熱気にも打たれた。自分の周りの聴衆も熱心にメモを取りながら、考え込むといった雰囲気であった。④かくも意義深い会を催された関係者の労を多としたい。「放送を語る会」の底力に大いに感じ入りました。今後とも、さらなる発展をお祈りいたします。(無記名)

- 本日は貴重な場を設定して頂き、有難うございました。番組取材の裏話を聞くことが出来、参考になりました。自分の研究に生かせればと思っています。(Z. M)
- NHKスペシャルなど主だった報道番組の報道の現状と、その制作過程について聞いて意義深いものがありました。(T. N)
- NHKスペシャル「沖縄と核」の制作者のお話が聞いて、研究者として感謝しています。(H. M)
- とても良かった。報道の問題はとても重要です。これからも頑張ってください。(K. T)
- 初めて知ることが沢山ありました。沖縄には、辺野古を中心に基地反対の闘いに何度も参加しています。(M. O)
- このような番組の土台には、地道な調査活動があるのだということが良く分かりました。本土基地を沖縄に集中させ、属国のような扱いを受けながら、今日にも繋がっている歴史を強く感じました。沖縄にだけ影響を集中させ、本土の国民には影響を受けさせない政策に怒りを感ずります。軍事基地の悪、核が保持されていることの最大の悪を改めて感ずります。(T. S)
- (このような番組の) 制作エネルギーが、何処からくるのか、そのジャーナリストとしての考え方を知りたいと思って参加したが、お話しを聞いた後の会場との質疑応答によって内容が深められ、面白かった。沖縄局から今度、所属されることになった文化福祉番組のレギュラー番組の一つ、「ブラタモ

リ」の沖縄編も面白かった！（Y. I）

- NHKのニュースはとても見る気になれないが、Nスペは良く見る。この番組も録画して視た。その番組制作者の話を直接聞けて、とても勉強になり、理解が深まった。NHKの政治部は偏向していると思うが、そんな中で、良心の番組制作を踏ん張って続けて欲しいと願います。こんな世の中、社会を、後世に残すわけにはいかない。マスコミの責任は重大で、その影響力は大きい。今さんのような人が現場で働いていらっしやることに勇気付けられた。（無記名）

- 知りえなかったことを、よくも放映していただき、感謝致します。いろいろな圧力もあったであろう中で、貴重なドキュメントを制作下さいまして、感謝申し上げます。いつまでも真実を追究して下さいますよう、こころよりお願い申し上げます。（M. T）

- NHKには、実力のあるスタッフが居て、いい番組を作っておられることは、いろいろ実感していますが、こういう人達の仕事をサポートしていくことが大事だと改めて思いました。（Y. I）

- 沖縄の基地について新しいことが掘り出され、良く分かった。（無記名）

- （沖縄の核について）具体的で丁寧な追求で、大変参考になりました。有難うございました。（Z. H）

- [沖縄と核]、BSの100分版も視て、感動しました。NHKにも、こんな良い番組を作るチームがあると感心しました。NHKにも電話しました。有難うございました。（Y. Y）

- よかった。参加者が多かったのもよかった。（S. T）

- 広島型の大きな原爆ではなく、1960年代には、戦略的に小型化した原爆を積んだ爆撃機が、敵地の警戒電波網に引っ掛からないように、地上すれすれに飛んで侵入し、原爆を落とすときは、落とした原爆の炸裂の被害を避けるため急上昇するのだそうで、当時は、オネストジョンなどと呼ばれていた。その投下訓練が沖縄の伊江島で、その当時、盛んに行われていたという、その映像が、会場で映し出されたときはゾッと印象に残った。もちろん当時の沖縄の人達には何も知らされていなかったし、本土の私たちも当然知らず、離れている

だけに他人事同然だった。沖縄と直接関われないことが無力感で悲しくなる・・・今日の集会の素晴らしい報告も、何とかしなければという気持ちとともに聞いた。

(S. T)

○講師の今さんのお話がお上手で、誠実さも感じられました。若手で、頑張つて活躍されるようにと、思いました。(T. O)

○ とても素晴らしい集いだった。(無記名)

○ とても勉強になった。今さんの、NHKの中でのご苦勞が偲ばれ、これからも頑張つてほしいと思いました(H. K)

○ 今も嘉手納基地には、核が在った時の施設がそのままあり、非常時には核が配備される約束が日米間にあること、などを知り、日本政府の対応を監視し、国民が、そんな約束や仕組みを変えさせていかなければならない、と強く思いました。今さんには、今後も頑張つて欲しいと思います。(S. Y)

○ 自民党政府、外務省、そして、マスメディアも、あまりにも、沖縄の基地の来し方の、事実を明らかにして来なかったことを知った。沖縄基地の意味が、アメリカ戦略と自民党の追随主義、反共主義とが重なって推移した歴史が、良く理解出来た。(H. H)

○ 内容の濃さに感激しました。期待していた以上の内容で、放送後の反応も知りたいと思いました。BSでの拡大版も、評価は高かったのではないかと思います。いまのNHKの実情は、少しは良い方へ変化しているのか、と期待させる感じをさせた。(M. K)

○ 本放送を視ていましたので、講演の内容がとても良く理解できました。これからも、このような自然体のドキュメンタリーを期待します。今さん、大変有難うございました。

(無記名)

○ とてもいい内容の集会でした。(無記名)

○ 映像もすばらしく、今さんのお話もよかった。1950年代からの沖縄をめぐる核の動きの年表から見えてくるものという視点に感動しました。今後もよろしくい番組を期待します。(無記名)

○ 非常に納得できる貴重な番組とお話し、ありがとうございました。非常時に

は、核の持込みを日米間で認め合っている、そういう約束が今も生きている、という印象をもつことが出来ました。(Y. S)

- 戦争のきな臭い感じを気にしながら、嘗て日本が戦争に突入していった頃のことなど思い巡らしている昨今です。そんな国民の1人である私には、この番組のように、真実が開示されることが必須です。国民が盲目にされたまま、という状態は怖いことです。政治の暗部を国民に切り開いてみせるジャーナリスト精神をしっかりと維持されるよう頑張ってください。(S. T)
- とても貴重なお話しや映像を見せていただきました。普段は中々接することの出来ない情報に満ちた有意義な時間を過ごすことができ感謝いたします。このような貴重なフォーラムを今後とも期待いたします。(Z. I)
- 良くぞこのような事実が追求されものだと思っていました。有難うございました。(無記名)
- 知らされていない真実が多すぎるという実感を持ちました。この番組の制作に大拍手です。国民が見やすい時間に何度か再放送すべきです。(無記名)
- よかったです。この番組に接し、担当者の話を聞きたいと思っていました。今後も番組担当者の話を聞くチャンスをどんどん、設けて下さい。(H. S)
- 米軍は日本から出て行け！汚いものは全て持ち去れ！清い大地にして戻せ！安倍の人殺し政治を終わらせよう！3000万核兵器反対署名の成功を！日本の夜明けは沖縄から！  
沖縄の皆さん、元気な頑張り、有難う！その貴重さが、討論で深まりました。(H. T)
- とにかく素晴らしかった (S. M)
- 尖閣列島は日本の領土だと主張してがっちり防備しているのに沖縄の現状は、アメリカに占領されたままの状態。この日本政府の、米国への対応の腰抜けぶりはどうだ！トランプの犬と化した安倍は日本の総理ではない！
- 今、平和が脅かされています。一番戦争に近いのが沖縄です。民意が踏みこじられゴリ押しされている状態を夜7時や9時の時間帯に毎日のように知らせて欲しい。今回の今さんの力作は素晴らしい。拡散しています。(無記名)
- 今回のNHKスペシャル担当の現役の方のお話に敬意を表します。(T. K)

- この集会在持たれた日の1 / 2 1, お昼前の時間に、NHKの経営計画について会長が話していましたが、NHKの政権忖度姿勢は空しいことです。今さん、ぜひニュース番組にも関わって下さい。(Y. Y)
- 聴衆のお1人として参加されていた民放の金平キャスターも、今さんの取材力、内容など、絶賛されていましたが、NHKの全国ネットの視聴者の圧倒的多数はシニヤで、NHK信者です。そのニュースが政府に不都合なことは言わない、都合のいいことは垂れ流す、NHKの危険を感じて欲しい。(N. T)
- 今回、今ディレクターのお話を聞き、ジャーナリストとして素晴らしい仕事をされた方だと感じました。今後もNHKの内部、現場での更なるご活躍をお祈りいたします。私は、この25日から沖縄を訪れる予定で、大変参考になりました。有難うございました。(I. Y)
- 沖縄と核の歴史、非常に衝撃的な内容、映像、そして資料の豊富さに感動しました。このように改めて実態を知らされると問題の根深さに困惑さえしました。公共放送として期待される内容を制作された力量に敬意を表します。また、貴重な機会を設けて下さった「放送を語る会」に感謝いたします。われわれは、こういうアメリカと今後、どう付き合っていけば良いのか、日本政府はどうか、自主性を失った人々に牛耳られてしまっているのか、冷戦時の緊迫状況は、形を変えながら、今も、本質は変わらずあるのはなぜか、など、いろいろ考えさせられました。(K. S)
- この番組を見たときは、「すごいもの見ちゃったな！」と圧倒されたような感じで、  
今回担当ディレクターの方のお話聞けるとしても何を質問していいのか思  
い浮かばない心境でした。でも、実際に今さんの貴重なお話を伺い、さらに  
会場の皆さんの質問を聞いたおかげで、ようやくニブイ頭の中にも「こんな  
ことを聞いてみたかったな」ということが浮かんできました。その一つは今  
さんが自分の疑問を年表に書いて考え続けたというエピソードに感動した  
ので、そもそも今さんが「沖縄に行きたかった」のは、どういう理由からそ  
う思うようになったのかを聞いてみたかったなと思いました。(私は鳥取出

身なですが、両親は一度も沖縄に行かないまま亡くなったので、旅行ですら身近に行った人がいないと、欲望を刺激されないんだなと思ったのです)

それからこれは感想ですが、N スペはNHKにとって特別なもの(すごい労力をかけて、一切間違いないよう緻密に半年ぐらいかける)というお話が、私のようにNHK内部に知人もいないただの視聴者にとっては、初めて知ることでした。特に貴重な情報だと思ったのは「良心的な上司から、さらに上の良心的上司につながって番組が放送にできる」というお話でした。それでオベッカ勲井会長の下でも、いいN スペがあったんだなと理解できたのです。新会長になって、今さんはNHKがどう変わったと感じていらっしゃるかも聞いてみたかったですね。

今さんのお話を必死に書き留めましたが、番組の背景にあるさらに深いお話ばかりで、またまた「すごいお話聞いちゃたな」という印象です。ただ私の中に一つ大きな疑問がわいてきました。それは、辺野古基地反対デモや集会で聞いたんだと思いますが、「NHKは辺野古に毎日来なくて、NHKが来るときは必ず大きな動き(工事を大掛かりに始めるとか悪い意味での)がある。だから逆にNHKが来ると、何かが起こるとわかる」という運動の側の人たちのNHK沖縄局に対する見方と、今さんのように頑張っている人がいることと、180度違うような気がするのです。これは私の推測では、どちらも熱い思いで頑張っているだけに、不満が出るのと、一方ではこんなにガンバッテます、というそれぞれの立場からのズレが生じているのかもしれないと思いました。

- 今後の「放送を語る会」の企画や運営についてのご要望、ご提案をどうぞ。
- 今集会にご参加のTBSの金平キャスターがおっしゃっていた、民間放送の質の低下について掘り下げる企画があれば面白いと思います。(T. N)
- こんごとも大いに頑張って下さい。応援しています。「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿追放ができる報道文化の確立を目指したいですね。(K. T)
- [砂川闘争から沖縄闘争に至る歴史をたどる]企画をお願いできないか・・・

(T. S)

- 折角のこの放送を見逃した人が多いと思います。再放送の要望を展開しませんか。(F. S)
- NHKのスペシャル番組のプロデューサーの塩田純さんのお話が聞きたい。彼の粘り強い制作活動など・・・(Y. I)
- NHKニュースの醜さ、バラエティー化は愚民化の極み！視聴者一人ひとりがリテラシー能力を養うための学習会、初心者入門編のような集いもやれるといいと思う(K. S)
- 今回の企画は大変良かった。日米地位協定が改訂され、日本の権利を保障する方向へ進む一助になればいい(Y. Y)
- 大学の研究室にいますが、貴会のモニター報告など、研究論文の参考にさせていただきます。今後ともよろしくご継続下さい。(T. K)
- たとえば、沖縄の日米地位協定など、一編の条約のために、国民の基本的人権や生存権が奪われている現状を黙認することは出来ません。これからの日本を背負う若い人達に、そうしたことを、きちんと説明できる国にしたい。日本の最高法規、憲法と、条約との関係、たとえば、砂川判決を通して見えてくるもの、など、の企画を検討して欲しい。(Z. I)
- 今回のように、現場でジャーナリストとして頑張っている方々を囲む企画は続けて欲しい。NHKニュースのひどさを批判しているだけではNHKを真っ当な報道機関であり続けさせる保障にはならないから。(S. Y)
- 原発事故で故郷を負われた人々からは、国策の失敗で、命からがら引き上げてきた満州開拓団が偲ばれます。原発の被災地には、かつて阿武隈山地の開拓で入植した人達の歴史が秘められています。入植に失敗し、南米などに移民した例もあるのです。努力の甲斐あって入植定住した人達が、今度は、原発事故で追い出された経緯となったわけです。常に犠牲となったのは農・漁民など名も無き庶民であることは同じです。こういう歴史を整理して学ぶこともやって欲しい。(H. K)
- 文芸春秋社、電通などのメディア支配、政治支配の実態を解明する企画をお願いしたい。(S. T)

- 沖縄の辺野古の海は、岸から70M付近は、大きな断層があり、その海底は珊瑚のやわらかい破片で出来ているので、埋め立ては出来ないと聞きました。現にケーソンの投入は失敗して、従来の工法では立ち行かないとのこと。これには、知事の許可という難関もあり、掘削工法を変えても無理で、沖縄側の勝利だと聞きました。この辺りの詳細を知る研究者か、ジャーナリストを囲む集まりもいいですね（Y. I）
- 今さんのお話の感想でも書きましたが、番組がどんなふうになられていくのかとか、例えばディレクターは何をどこまでやる人なのかという役割とか、組織の部署ごとの分担とか範囲など、制作する方のしくみがよくわかっていないので、折に触れて解説していただくとありがたいなと思いました。

私自身が思いついて昼休みにテレビ局・新聞社に電話していたのは、「世論調査の男女別の数字を報道してほしい」という要望です。安保法制に原発再稼働、敵基地攻撃ミサイルに九条改悪と、女性の方が反対の数字が多いのではと思ったので。“女の嫌がることばかりやりたがる男”という安倍さんのキャラが浮かび上がることを期待しているのですが。（K. T）